



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第81号



素敵な贈り物に感謝。

信越郵便局局長協会 中信地区郵便局長会の皆さまから、デイサービスセンターいちいの里へ車椅子の寄付をいただきました。

おしゃれな緑色のチェック柄は利用者の方々にも人気があり、「乗り心地も良く使いやすい」との声が聞かれました。

大切に使用していきたいと思えます。

ありがとうございました。

山形村地震総合防災訓練	1
平成30年度 普通会員会費納入結果	2
子どもひろば楽しみ隊結成！	3
すばる夏祭り／放課後等デイサービスの紹介	4
まほろばトピックス～事業所のできごと～	5
共同募金運動にご協力ください	6
社会福祉法人設立30周年記念企画	7

山形村地震総合防災訓練

いざという時に力を合わせて

9月2日(日)村内各地区において、山形村地震総合防災訓練が行われました。

今年は、社会福祉協議会が各公民館に設置させていただいているAEDの操作方法の体験を行なった地区と、社会福祉協議会の公益事業で取り組んでいるスチレット(災害時用簡易トイレ)を紹介させていただいた地区への取材を行いました。

下大池地区

社会福祉協議会職員より、スチレット(災害時用簡易トイレ)の説明がありました。だれでも簡単に組み立てられる発泡スチロール製のトイレに、45ℓ用のポリ袋、ポリマー等の入った吸収剤や凝固剤を入れて使します。

初めて見る人がほとんどで、汚物で菌が繁殖したり食中毒が発生したりする危険があることを聞き、災害時の必要性や実用性の高さを感じた様子でした。

その後、村による実際の災害に見立てたトリアージ訓練が行われました。

参加した人からは、「家族がもう助からないと診断された時に冷静でいられないと思ったし、トリアージの色分けに納得できない部分もあるが、事実を受け止めて、パニックにならないようにしないといけないと思った。」「もっと多くの人に知ってもらいたいと思う。」という感想が聞かれました。

区長から「自助、共助、公助、が大事!」と強調され「少なくとも隣近所で情報を共有してほしい」という話もあり、区長の熱い想いが伝わってきました。

災害について改めて考えさせられた訓練となりました。



中大池地区

今年度は、「住民が災害時に役立てられるように、被災時のトイレの話や村で準備している浄水器(泥水や雨水を浄水するもの)の紹介をしたい。」という区長の提案から、スチレット(災害時用簡易トイレ)の開発者で、ぼぼねっと企画の経営推進部会員の品ヶ瀬氏より、被災時のトイレ事情やスチレットの特性、簡易トイレ等の必要性の説明がありました。

スチレットは半永久的に使用が可能で、災害時に問題となっている感染症の予防として、次亜塩素ナトリウム(塩素系漂白剤)を直接かけて消毒することができ、衛生的で便座の冷たさを感じにくい素材であり、取り扱いやすく、緊急時には必要性の高い防災備品の一つとして考えられます。

浄水器や簡易トイレの実物を見ることで、災害時の備えをもう一度考える機会になったのではないのでしょうか。



上大池地区

上大池地区では「より多くの方々にAEDに触れながら操作を体験してほしい」という区長の願いから、AEDのレンタル元であるセコム上信越株式会社松本支社の飯塚氏に、安否確認とAEDデモ機を使用した操作方法を教わりました。

9時のサイレンが鳴ったと同時に、243人の住民が続々とコミュニティセンターに集合し、集まった方から順番に講習を受け、各常会の常会長が代表して、実際にAEDデモ機を使用して操作方法を体験しました。

最後に区長から「AEDは誰もが取れる場所になくてもはならない。一刻も早く救命しなければならない状況で、コミュニティセンターの鍵を借りに行く時間はない。今後は鍵を使わなくても取れる場所に設置できるよう検討しながら、実際に使用しなくてはならない状況になったらガラスを割ってでもAEDを持ち出し救急救命にあたってほしい」との呼びかけがありました。



上竹田地区

AEDについて、セコム上信越株式会社松本支社の山田氏にその操作方法を教わりました。

AED操作の体験者からは「AEDは見たことはあるが、使ったことはない。操作もわからないため、いい経験になった。」「説明が分かりやすく、落ち着けば自分にもできそう」という声が聞かれました。また「心肺蘇生法を絶え間なく行うことで救命率が上がる、それが大事だ」と話がありました。

『設置場所が公民館であるため、施錠されていた場合どうするのか』が今後の課題です。

その他に、自主防災会による『炊き出し訓練』、山形村消防団上竹田分団による『消火栓取扱い訓練』、防災備品の展示なども行われました。



村民一人ひとりが防災意識を高め、災害への対応方法を身に付けるために毎年開かれています。各常会ぐるみで行うことにより、協力して助け合うことの大切さを再確認しました。

平成30年度●山形村社会福祉協議会普通会員会費納入結果

平成30年度の山形村社会福祉協議会普通会員会費納入につきましては、本年度も大勢の会員の皆さまからご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。地域福祉活動推進のために有効に活用させていただきます。

総額 2,796,000円(1,864件) 平成30年9月20日現在

■山形村社会福祉協議会／普通会員会費 (1口/1,500円)

(単位：円)

連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額	連絡班名	件数	金額
豆沢南	17	25,500	橋爪西	12	18,000	青葉台	7	10,500	上北沖	16	24,000	南堀	32	48,000
豆沢北	16	24,000	橋爪東	51	76,500	本郷東	27	40,500	中北沖	22	33,000	北堀	20	30,000
青木沢南	13	19,500	下大池下村	19	28,500	南原	1	1,500	下北沖A	54	81,000	竹原	32	48,000
青木沢北	16	24,000	中央通	43	64,500	西原	0	0	下北沖B			原町	27	40,500
中耕地西	16	24,000	城ヶ沢	9	13,500	四ッ谷中	9	13,500	上中原	28	42,000	北竹原	20	30,000
中耕地東	19	28,500	西沖	31	46,500	本郷北	12	18,000	中原町	11	16,500	竹田原	20	30,000
久保	16	24,000	唐沢下	28	42,000	四ッ谷東	11	16,500	新町	26	39,000	三夜塚	23	34,500
堤南	27	40,500	四ッ谷上	35	52,500	本郷西	18	27,000	小坂台	18	27,000	南竹原	24	36,000
堤北	40	60,000	四ッ谷下	34	51,000	中村東	0	0	下中原	11	16,500	新星	0	0
青木沢中	3	4,500	原村上	25	37,500	山口	21	31,500	中嶋	19	28,500	若葉	10	15,000
淀の内	30	45,000	原村東	20	30,000	大日	16	24,000	美の里ヶ丘	19	28,500	野尻西	6	9,000
上手西	18	27,000	宮村	30	45,000	日向	25	37,500	唐沢上	17	25,500	野尻東	10	15,000
上手東	16	24,000	殿村	31	46,500	堂村上	13	19,500	神明	35	52,500	梨の木	20	30,000
野際	30	45,000	中耕地	28	42,000	堂村下	10	15,000	荒川	15	22,500	中竹原	11	16,500
野際東	12	18,000	上竹田中村	31	46,500	第一	19	28,500	上手村	26	39,000	連絡班外	2	3,000
中大池中村	37	55,500	御判形	42	63,000	清水	12	18,000	西下	14	21,000			
中大池下村	22	33,000	下本郷	48	72,000	本殿上	20	30,000	北村	18	27,000			
下村東	34	51,000	新和	27	40,500	本殿下	17	25,500	南中	32	48,000			
仲町	31	46,500	四ッ谷西	2	3,000	東殿	10	15,000	北中	19	28,500			

赤十字の活動資金にご協力をいただきありがとうございました。

平成30年度日本赤十字社長野県支部山形村分区活動資金収納運動結果報告

地区名	活動資金額(①+②)	定額支援資金額(①)	寄付額(②)
上大池	141,500円	105,000円	36,500円
中大池	122,600円	114,000円	8,600円
小坂	247,500円	197,000円	50,500円
下大池	151,000円	110,000円	41,000円
上竹田	323,000円	227,000円	96,000円
下竹田	308,750円	255,000円	53,750円
合計金額	1,294,350円	1,008,000円	286,350円

総合計金額 **1,294,350円**

日本赤十字社長野県支部へ全額を送金いたしました。

山形村社会福祉協議会理事・監事・評議員 (新会期就任者名簿)

(敬称略)

(平成30年6月30日現在)

理事

中村 一博(会長)
 山口 隆也(副会長)
 小林 かつ代(副会長)
 小林 司(常務理事)
 三澤 一男
 倉科 喜和
 籠田 利男
 稲田 治喜
 中村 哲久
 小林 昭五

監事

赤羽 千秋
 神通川 清一

評議員

福澤 倫治
 春日 仁昭
 清水 敏昭
 須山 正光
 増澤 武志
 齋藤 英晴
 百瀬 健一
 大塚 恭子
 古本 政雄

滝澤 隆
 中村 清子
 中村 則光
 小林 佳子
 中村 千春
 田村 守康
 村上 一壽
 清沢 實視
 青柳 寛

林 和男
 金井 さゆり



自分たちで企画を考え、みんなで楽しむ！ ～子どもひろば開催～



8月6日(月)～10日(金)の5日間、夏休み子どもひろばが開催されました。今年もコミュニティハウス建部の里と下大池公民館の2か所で行われ、連日、多くの小学生やボランティアが参加しました。

今年は初の試みで、有志の小学生が自分たちで企画を考えて実行する『子どもひろば楽しみ隊』が結成されました。

子どもひろばも11年目を迎え、運営会議ではプログラムのマンネリ化や、高学年の子どもの参加が減ってきていることなどが課題として挙げられました。

そこで、子どもひろばの原点である『子どもの居場所』=『子どもたちが主役』をもとに、子どもひろばに参加してくれる高学年の子どもたちが遊びを企画し、子どもたちみんなが楽しめるような子どもひろばにしていこうと、山形小学校に協力を依頼し、『子どもひろば楽しみ隊』の結成が実現しました。



子どもひろば楽しみ隊 作戦会議中！



茶道初体験 お作法猛勉強中…

放課後、教室で楽しみ隊の隊員が集まり作戦会議を行い、たくさんのアイデアを出し合いました。本番が近づいてくると準備も大変そうでしたが、たてべ、いこいの楽しみ隊員たちの頑張りにより、手作りのメダルやショッピングモール（手作りゲームコーナー）、スタンプラリーが完成し、当日も低学年の子どもにも大ウケでした。

子どもひろば楽しみ隊に参加した子どもたちからは、「みんながルールを守ってくれたから楽しくできた」「緊張したけど楽しかった」「準備が大変だったけど、下の子たちも楽しんでくれて良かった」「来年もまた子どもひろば楽しみ隊をやりたい」「来年は違うメンバーが入ると思うから一緒にやりたい」と笑顔で話していました。

新メンバー
大募集！



子どもひろば楽しみ隊の隊員
「次の隊員募集中」

ボランティアの方からは、「今までの子どもひろばは用意されていた日程をこなすだけだったが、今回は子どもたちが自分で企画を考えて実行することで、責任感が出てきた様子だった」「茶道体験では普段できないこと、今まで経験できなかったことができたと思う。女の子たちはまた来年もやりたいと話していた」「子どもたちは年々元気になっている」と外で元気に駆け回っている子どもたちを見ながら話していました。

いこい子どもひろばに取材に行くと、小学生に囲まれて手紙を書いている高校生がいました。「小学生の時に子どもひろばに参加していたが、中学生になって夏休みに何もすることがなく、子どもひろばのボランティアに出ようと思った。子どもひろばのボランティアを中学1年生の時から続けている」と話していました。

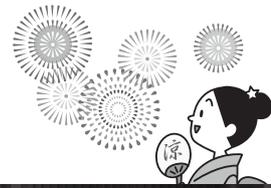
子どもひろばが11年目となり、今まで参加していた子どもたちが成長し、ボランティアとして支えてくれる頼もしい存在となってくれました。



隊員が作った輪投げにチャレンジ (たてべ)



竹パンに夢中…「早く焼けないかな」



8月14日(火)、山形じゃんずらに併せて『すばる夏祭り』を開催しました。いちいの里すばるの玄関前にテントを設営し、焼きそばやフランクフルト、かき氷などの屋台や就労支援センターすばるの物販を行いました。「山形じゃんずら」の花火を見に来たご家族や、すばる夏祭りを楽しみにしていた方が、たくさん来てくださいました。夏の夜空に打ち上げられた大輪の花火を、すばる夏祭りに来てくださった方々と一緒に鑑賞でき、ほっこりした気持ちになりました。また来年の夏もお待ちしています。

放課後等デイサービス ～運動療法の紹介～

放課後等デイサービスでは毎月、運動療法士の茂澄先生をお招きして運動療法に取り組んでいます。心と身体のバランスづくりや、運動を通じて色々なことに挑戦し、体験することによって、『子どもたちのできることを発見する』を目的に活動しています。

夏休み期間中の7月29日(日)は、一般の方々と交えての運動療法体験会を開催し、7組の親子が参加しました。親子と一緒に『宝探し』や『かかし』などの遊びを行い、その中で文字を正しい文章に並べ替えるといった頭を使った運動や、子どもたちが自分で遊び道具を作ることの大切さを学び、順番やルールを守ることでゲームの秩序を楽しむことができました。

体験会の中で子どもたちの新たな成長を見て驚いたり、「頑張れ！」と応援する親の声に張りきる子どもたちの姿が見られ、楽しい時間を過ごしました。

運動療法は月1回夕方4時から1時間程度、放課後等デイサービスのプログラムとして行なっています。初めての方で興味をお持ちの方、放課後等デイサービスのご利用をご検討されている方がいらっしゃいましたら、いつでも見学ができますので、お気軽にご連絡ください。



◇お問い合わせ先◇
 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会
 障害児通所支援事業所 すばる
 電話87-8754 (いちいの里すばる内)
 担当：田口

まぼるばトピックス

～事業所のできごと～

ホームヘルプステーションいちいの里

毎月、利用者さんの誕生日をお祝いさせていただきたい気持ちから、お一人おひとりの笑顔を思い浮かべ、心を込めて誕生日カードを手作りで制作し、お渡ししています。

1年に一度の誕生日が素敵な思い出になるように願っています。

これからも利用者さんに喜んでいただける企画を考えています。

『おこひるタイム』と題して利用者さんと一緒に歌ったり脳トレを行なっています。わずかな時間でも楽しい時を過ごせることを願っています。



9月の誕生日カードは果物です

居宅介護サポートセンターいちいの里

8月23日(休)に今年度初の介護者教室を開催しました。普段、頑張っている介護者さんのリフレッシュの場所として提案できればと思います、今回は下竹田にある「スローカフェ マハロ」でランチをしました。



8名の介護者さんとケアマネージャーで美味しい料理を食べながら情報交換を行いました。本来は私どもケアマネージャーがみなさんに元気の「おすそわけ」をしなければいけないのですが、終わってみると私どもの方が元気をもらったように思います。

また他の内容で介護者教室を開催したいと思いますので、是非ご参加ください。



デイサービスセンターいちいの里

デイサービスセンターいちいの里では、ボランティアさんに協力していただき、さまざまなイベントを計画しています。



今回は山形村を拠点に活動する彌磨太鼓さんにピアノの演奏に合わせ、迫力ある太鼓の演奏を披露していただきました。利用者さんも太鼓に触れ体験してみると自然と笑顔になり、太鼓を叩く楽しさや大変さを実感されました。迫力ある太鼓の音は体の中まで伝わり、普段聞きとりにくい方でも楽しむことができました。



小規模すばる

小規模多機能型居宅介護事業所すばるは、利用者さんのご自宅での生活を中心に『通い』『泊まり』『訪問』のサービスを組み合わせることで、ご自身が培ってきた生活スタイルを、在宅のま



まに可能な限り継続することができます。ご自身の『生きがい感に満たされた暮らし』ができるように、24時間365日支援をしています。

毎月、外食に出かけ、お花見やぶどう狩りなど季節の外出も楽しんでいただいています。また、村の敬老会に職員と一緒に参加するなど、地域の行事にも参加しています。

いつでも見学できますので、お気軽にお問い合わせください。



平成30年度 赤い羽根・歳末助け合い 共同募金運動にご協力ください



——— 幸せな地域づくり「赤い羽根」が支えます ———

少子高齢社会の今日、地域で安心して生活していくためには、さまざまな福祉サービスが必要です。そのため地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会や民間の社会福祉団体や施設、またボランティア団体等によって、多彩な福祉活動が展開されています。

皆さまからの共同募金は、こうした活動の支援のため役立てられます。

平成30年度共同募金運動の実施期間（山形村共同募金委員会の場合）
平成30年10月1日から10月31日まで（日曜日を除く）

- * 山形村共同募金委員会の平成30年度目標額は、1,960,000円です。
- * 各連絡班ごとに集金いただき「戸別募金」をはじめ、「学校募金」、「職域募金」、「村内公共施設募金(箱)」等により、皆さまの温かいご協力をお願いします。
- * **戸別募金**の例 戸別の募金として、1戸から1,000円の協力をいただいた場合の募金の流れ（イメージ）



長野県共同募金会 山形村共同募金委員会
事務局 山形村社会福祉協議会内 ☎97-2102



山形村社会福祉協議会法人設立30周年記念!!

一人ひとりの『たから』をつなぐ

〈日時〉 平成30年12月1日(土)
午前10時～午後4時(予定)

〈場所〉 山形村農業者トレーニングセンター ふるさと大ホール 他

今年も
やります!

マルシェ おたから市場出展者募集

フリーマーケット型のマルシェの出店者を募集します。

場 所 山形村農業者トレーニングセンター 食堂

募集数 11区画(1区画畳約2畳分)

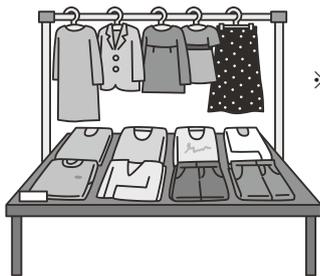
出店料 1グループ 500円(全額義援金にさせていただきます)

募集期間 11月8日(木)まで

出店可能用品

リユース品・手作り雑貨や作品・野菜・食品

※食品は保健所から製造許可がとれている物に限ります。
※高価な物、破損している物の出品はご遠慮ください。



結果発表について式典終了後に投票会場にて行います。優秀賞4句には表彰と賞品があります。ぜひ会場へお越しください。

投票時間 午前10時～午後12時30分
当日、来場者による投票にて審査を行います。

応募締切 11月26日(月)まで
審査方法

12月1日(土) 山形村社会福祉協議会法人設立30周年記念式典
10月に配布される専用の応募用紙に記入し、直接持込または、FAX・メールにてご応募下さい。
『たから』に関係していればどんな内容でもOK
どなたでも応募できます。
作品の応募について
メールの場合は件名に「30周年記念川柳」と表記し、応募用紙の内容をお送りください。

今年のテーマは『たから』

川柳を作って入賞をめざそう!
今年小学生の部と一般の部と分けて募集します。

川柳募集



この他にも特別表彰や古今亭菊生師匠記念公演、子どもたちが楽しめる企画、漬物サミットを開催予定です。詳しくは10月に配布するチラシをご覧ください!!

山形村社会福祉協議会に関するアンケート調査と協力をお願い

山形村社会福祉協議会では、今年度社会福祉法人設立30周年記念にあたり、住民の皆さまにアンケートをお願いすることになりました。

社会福祉協議会で現在行なわれている様々な取り組みへの評価、これから期待する取り組みなど、皆さまのご意見をいただき、今後の活動に役立てていきたいと思っております。

アンケート用紙は、全戸にお配りしますので、多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

なお、このアンケート集計結果は、12月1日(土)開催の「社会福祉法人設立30周年記念式典」の際に発表し、その後本会ホームページ等で公表をさせていただきます。

まほろば (社協広報/第81号) 平成30年9月28日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会(山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263(97)2102 FAX0263(97)2108
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>

●「まほろば」に載せきれなかった記事については、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。